

# 介護職員等処遇改善加算に基づく取り組みについて

## 職場環境等要件について

### 令和7年度の実施項目

区分	取り組み事項	具体的方法
入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ① 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人理念・運営理念のHP掲載、面接時・説明会等でパンフレットを使用し理念等説明  介護予防教室の開催および中学校の職場体験の受入や栄養・福祉系学校からの実習を受入しています。
	<input type="checkbox"/> ② 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	
	<input type="checkbox"/> ③ 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築(採用の実績でも可)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	介護福祉士資格等取得支援制度・喀痰吸引特定行為業務の取得補助を設け、受講費の補助等をおこなう。  職種別・レベル別の評価シートを使用し、面談をおこなう
	<input type="checkbox"/> ⑥ 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	
	<input type="checkbox"/> ⑦ エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入	
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	
両立支援・多様な働き方の推進	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨ 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児や家族の介護と仕事の両立を目指す職員の為、「育児介護休業規程」を定め、育児及び介護休暇を取得しやすくしている。 勤務制限があるフルタイムの職員も正職員とするほか、正職員登用制度を規定化(R6.1.1)し対象職員に周知しています。
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩ 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	
	<input type="checkbox"/> ⑪ 有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得)を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	
	<input type="checkbox"/> ⑫ 有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	
腰痛を含む心身の健康管理	<input type="checkbox"/> ⑬ 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	パート含む全員健診(直接処遇者は年2回)及びストレスチェック実施しています。  事故発生防止・発生時の対応指針作成、介護事故報告による統計分析を行っています。
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑭ 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	
	<input type="checkbox"/> ⑮ 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑯ 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ⑰ 厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等)を行っている	委員会の立ち上げと業務改善活動の構築  介護ソフト(ほのぼの)導入し、記録等ペーパーレス化を図っています。  介護補助の65歳以上の方の就業、洗濯・トイレ清掃・オムツ等の配布を外部委託
	<input type="checkbox"/> ⑱ 現場の課題の見える化(課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等)を実施している	
	<input type="checkbox"/> ⑲ 5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備	
	<input type="checkbox"/> ⑳ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉑ 介護ソフト(記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの)、情報端末(タブレット端末、スマートフォン端末等)の導入	
	<input type="checkbox"/> ㉒ 介護ロボット(見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等)又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器(ビジネスチャットツール含む)の導入	
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉓ 業務内容の明確化と役割分担を行った上で、間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)については、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担い、介護職員がケアに集中できる環境を整備	
	<input type="checkbox"/> ㉔ 各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施	
やりがい・働きがいの醸成	<input checked="" type="checkbox"/> ㉕ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	定例会議、安全衛生会議でのケース共有、部署ごとのミーティングによりチームケアを心掛けている。  地元文化祭への出品展示等による参加しています。  毎日の朝礼時に理念唱和や法人認知症理念等の周知を研修等で行っています。
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉖ 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉗ 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	
	<input type="checkbox"/> ㉘ ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	

各区分2項目、ただし生産性向上区分は3項目かつ必須項目として⑰と⑱のうち1つ

令和7年4月1日

唐孔雀園

# 介護職員等処遇改善加算に基づく取り組みについて

## 職場環境等要件について

### 令和7年度の実施項目

区分	取り組み事項	具体的方法
入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ① 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人理念・運営理念のHP掲載、面接時・説明会等でパンフレットを使用し理念等説明  介護予防教室の開催および中学校の職場体験の受入や 栄養・福祉系学校からの実習を受入ています。
	<input type="checkbox"/> ② 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	
	<input type="checkbox"/> ③ 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築(採用の実績でも可)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	介護福祉士資格等取得支援制度を設け、受講費の補助等をおこなう。  職種別・レベル別の評価シートを使用し、面談をおこなう
	<input type="checkbox"/> ⑥ 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	
	<input type="checkbox"/> ⑦ エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入	
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	
両立支援・多様な働き方の推進	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨ 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児や家族の介護と仕事の両立を目指す職員の為、「育児介護休業規程」を定め、育児及び介護休暇を取得しやすくしている。 勤務制限があるフルタイムの職員も正職員とするほか、 正職員登用制度を規定化(R6.1.1)し対象職員に周知しています。
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩ 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	
	<input type="checkbox"/> ⑪ 有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得)を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	
	<input type="checkbox"/> ⑫ 有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	
腰痛を含む心身の健康管理	<input type="checkbox"/> ⑬ 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	パート含む全員健診(直接処遇者は年2回)及びストレスチェック実施しています。  事故発生防止・発生時の対応指針作成、 介護事故報告による統計分析を行っています。
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑭ 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	
	<input type="checkbox"/> ⑮ 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑯ 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ⑰ 厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等)を行っている	委員会の立ち上げと業務改善活動の構築  介護ソフト(ほのぼの)導入し、記録等ペーパーレス化を図っています。  H27に腰痛対策としてシャワーストレッチャ、R3に移乗用リフト、転倒防止対策として見守りカメラ導入  送迎担当運転手、介護補助の65歳以上高齢者の就業も多く活躍頂いています。
	<input type="checkbox"/> ⑱ 現場の課題の見える化(課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等)を実施している	
	<input type="checkbox"/> ⑲ 5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備	
	<input type="checkbox"/> ⑳ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉑ 介護ソフト(記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの)、情報端末(タブレット端末、スマートフォン端末等)の導入	
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉒ 介護ロボット(見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等)又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器(ビジネスチャットツール含む)の導入	
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉓ 業務内容の明確化と役割分担を行った上で、間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)については、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担い、介護職員がケアに集中できる環境を整備	
	<input type="checkbox"/> ㉔ 各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施	
やりがい・働きがいの醸成	<input checked="" type="checkbox"/> ㉕ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	定例会議、安全衛生会議でのケース共有、部署ごとのミーティングによりチームケアを心掛けている。  地元文化祭への出品展示等による参加、保育園児の慰問受入れ等実施しています。  毎日の朝礼時に理念唱和や法人認知症理念等の周知を研修等で行っています。
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉖ 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	
	<input checked="" type="checkbox"/> ㉗ 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	
	<input type="checkbox"/> ㉘ ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	

各区分2項目、ただし生産性向上区分は3項目かつ必須項目として⑰と⑱のうち1つ

令和7年4月1日

桜花台園